



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: ほのか さん からの質問
なんでどうぶつえんがあるんですか。

ご質問、ありがとうございます。

多くの人にとって身近な場所の一つでもある動物園。では、動物園は「なぜ」あるのでしょうか。今日は、動物園の役割に焦点をあてて、解説をしていきます。



現在、動物園には社会的な4つの役割があると言われています。「種の保存」「環境教育」「調査・研究」そして「レクリエーション」です。

様々な動物を見ながら憩いのひと時を過ごす、という「レクリエーション」の役割は、多くの方がイメージされる動物園の役割の一つです。様々な動物と出会い、親しみを持っていただけるように、職員も園内の整備や展示の工夫を行っています。ただ、動物園の役割はそれだけではありません。

例えば「環境教育」。イベントで動物についてお話をすることはもちろん、学校や一般来園者に向けたプログラムの作成など、動物について学んでいただくことも、動物園の役割の一つです。



それから「種の保存」。動物を繁殖させることも大切な役割です。動物の赤ちゃんが見られることで多くの方に来園してもらうだけでなく、動物の繁殖は、数が減っている動物を次世代に残す、という大切な役割でもあります。そして「調査・研究」。各園で動物を飼育することで得られた情報を、全国・世界の動物園と共有し、より良い動物の飼育や治療、園内での教育活動ができるようにしています。

今回は基本的な4つの役割をご紹介しましたが、動物園はこの他にも様々な取り組みをしています。ぜひ、園内を楽しみながら、園で行っている取り組みも探してみてくださいね。